

2020年12月吉日

FDB・Inforex メーカー 各位

一般社団法人日本加工食品卸協会 商品画像専門部会
株式会社ジャパン・インフォレックス

棚割り用スポット商品画像の取扱い中止に伴う運用変更のお願い

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2020年11月26日開催の日本加工食品卸協会 商品画像専門部会(別添資料:棚割り用スポット商品画像の問題点と運用変更について7頁目参照)にて、「棚割り用スポット商品画像の取扱い上の問題点(※1)」と「登録の是非」について協議を行った結果、『棚割り用スポット商品画像の取扱いは行わない』旨の結論となりました。

つきましては、FDB・Inforexの画像登録に関し、棚割り用スポット商品画像を対象外とさせていただき、下記の通り、運用を変更させていただきます。大変急なお願いではございますが、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、外観用のスポット商品画像につきましては、現行通り、ご登録をいただけますよう重ねてお願い申し上げます。

(※1)「棚割り用スポット商品画像」取扱い上の問題点

- ・棚割ソフト(棚 POWER/ストアマネージャー等)の画像管理キーコードは、JANコードのみである事から、卸売業各社にて、通常商品と同一 JAN コードのスポット商品の画像を棚割ソフトへ取込むと、既存の通常商品がスポット商品に上書きされ消滅してしまう不都合が発生しています。
- ・結果、メーカー様にご登録いただいたスポット商品画像を卸売業側で除去すると言った事象が発生しています。

(詳細は、別添資料:棚割り用スポット商品画像の問題点と運用変更について参照)

敬具

記

1. 商品画像登録に関する運用の変更点

- (1)「スポット商品(※2)の棚割画像」は、ご登録を中止してください。
- (2)「スポット商品(※2)の外観画像」は、現行通り登録をお願い致します。

(※2)スポット商品とは、通常商品と同一 JAN で、期間限定で発売される商品(増量品・キャンペーン品等)を指します。

2. メーカー様 運用開始時期

下記の画像チェック時の運用を、2021年3月2日より開始致しますが、メーカー様での画像登録時の運用変更は、貴社ご準備が整い次第開始してください。

3. 画像チェック運用について

- (1)運用開始後、万が一、棚割り用スポット商品画像が登録された場合には、画像チェック時に「NG(棚割画像不要)」とし、該当画像のみ卸売業への配信を行わないようにします。
- (2)その際、ご登録メーカー様へは、メールにて「NG」である旨のご連絡を致します。

▼本件に関するお問合せは、下記メールアドレスへお願い致します。

株式会社ジャパン・インフォレックス 画像推進グループ E-mail: g-gazosin@jii-inforex.jp

以上

FDB・Inforexメーカー 各位

棚割り用スポット商品画像の 問題点と運用変更について

一般社団法人日本加工食品卸協会 商品画像専門部会
株式会社ジャパン・インフォレックス

2020年12月吉日

1. 同一JANコードに複数商品データ登録の現状

- (株)ジャパン・インフォレックス (略称:JII) の保有する商品マスターには、JAN重複データが数多く存在している。
- 棚割画像においても、同一JANコードでメーカープライバートコード`違いの複数の画像が存在している。その為、卸売業側では、通常商品画像がスポット商品画像で上書きされ消滅してしまう事象が発生している。

(1) 同一JANコード棚割画像ボリューム

対象データ：FDB/Inforexで登録された棚割（正面）画像 ※JANなしデータを除く

対象期間：2019年12月1日～2020年11月30日（1年間）

棚割（正面）画像全件	34,887
同一JANコード画像	9,457
重複率	27%

年間「27%」の同一JAN
棚割画像が存在

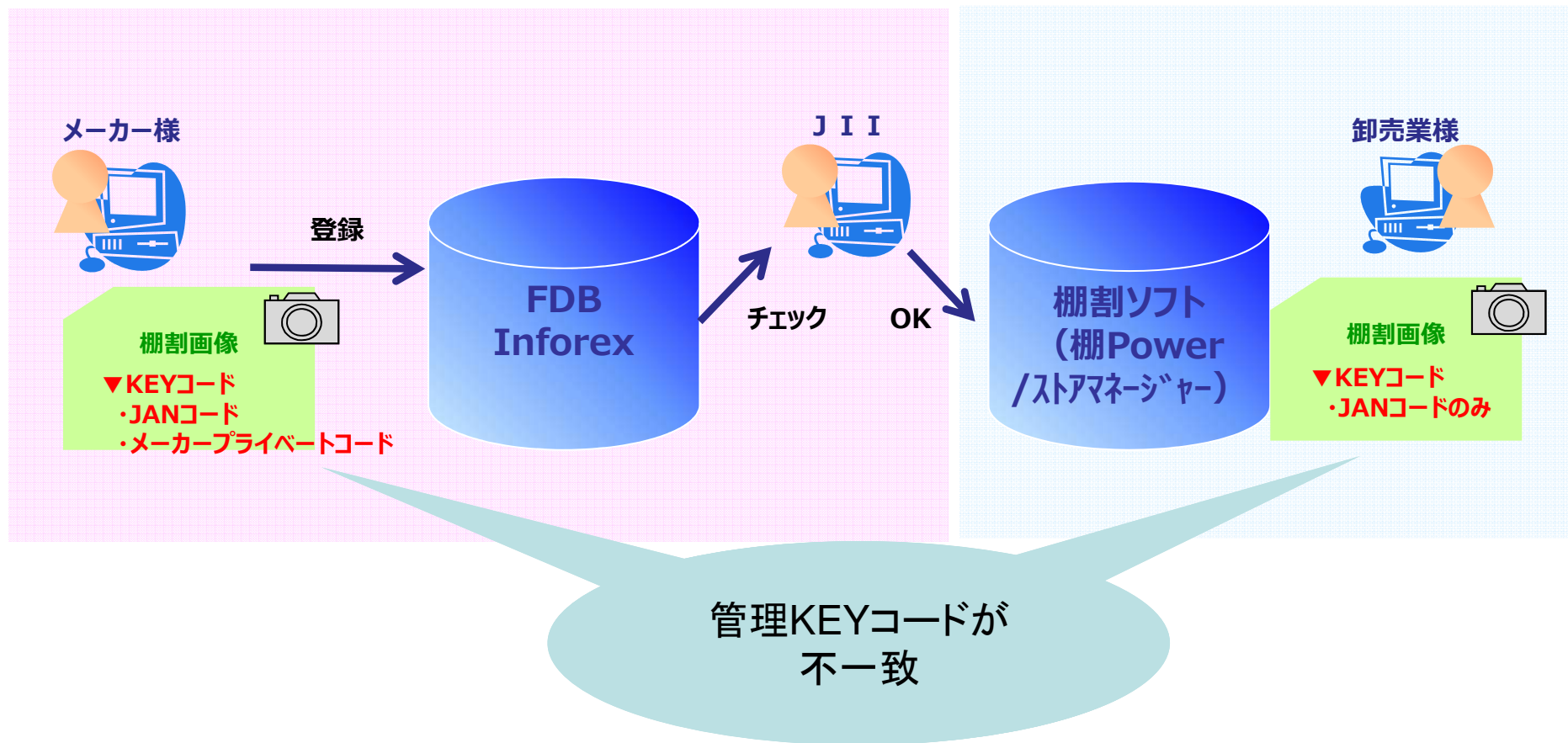
(2) 同一JANコードの画像発生パターン

- 1、通常商品と同一JANコードで、スポット商品が発売されている
スポット商品とは、期間限定で販売される「増量品」「キャンペーン品」など
- 2、通常商品もしくはスポット商品のリニューアル商品が同一JANコードで発売されている
- 3、終売になった商品JANコードを再利用した新商品が発売されている
- 4、酒類のビンテージ違い、ギフトの発売年違いが同一JANコードで発売されている

問題となっている
パターン

2. ご登録データと棚割ソフトの管理キーコードの不一致

- FDB/Inforexでは、JANコード+メーカープライベートコード単位で画像登録いただけるが、棚割ソフト側では、JANコード単位で管理されている為、同一JANコードの画像は上書き更新される仕組み。その為、次頁のような不具合事象が発生している。



3. 棚割ソフト上の制約による事象と 卸売業における対処の現状

- 通常商品画像が、同一JANコードスポット商品画像がで上書きされ消滅してしまう事象が発生している。



- 上記を未然に防止する為、卸売業各社では、以下のような対処を行っている。

事象発生を防止する対処の現状

- ・JIIより連携される棚割画像の中から、目検により「スポット商品」にあたる画像を検知し、棚割ソフトに連携しないよう除去作業を行っている。
- ・作業ボリュームとしては、週に50件程度／作業時間にすると2.5時間ほどを要し、卸売業各社で、同様の作業が発生している。

4. 棚割り用スポット商品画像受入れ中止とその効果

▼2020年11月26日開催

「日本加工食品卸協会（略称:日食協）商品画像専門部会」協議事項

➤ 協議事項：

「棚割り用スポット商品画像の取扱い上の問題点」と「登録の是非」について

➤ 決議事項：

- ・通常商品と同一JANコードで発売されるスポット商品の棚割画像の取扱いは行わない
- ・併せて、FDB／Inforexの加盟メーカー様には、今後、スポット商品画像の登録を中止していただくよう申し入れを行って行く旨の方針も決定

▼棚割り用スポット商品画像の受入れ中止による効果

- ① 棚割ソフト（棚Power/ストアマネージャー等）にて、誤って画像を上書きしてしまう事を防止し、正規画像を使用した棚割提案を実現する。
- ② ご登録メーカー様では、棚割画像の登録量が減り、作業負荷が軽減される。
- ③ 卸売業各社で行っているスポット商品画像の除去作業が軽減される。

5. 棚割画像登録に関する変更点と メーカー様へのお願い事項

▼商品画像登録に関する運用の変更点

- (1) 「スポット商品の棚割画像」は、ご登録を中止してください。
- (2) 「スポット商品の外観画像」は、現行通り登録をお願い致します。

※スポット商品とは、通常商品と同一JANで、期間限定で発売される商品（増量品・キャンペーン品等）を指します。

▼メーカー様 運用開始時期

下記の画像チェック時の運用は、2021年3月2日より開始致しますが、メーカー様での画像登録時の運用変更は、貴社ご準備が整い次第開始してください。

▼画像チェック運用について

- (1) 運用開始後、万が一、棚割り用スポット商品画像が登録された場合には、画像チェック時に「NG（棚割画像不要）」とし、該当画像のみ卸売業への配信を行わないようにします。
- (2) その際、ご登録メーカー様へは、メールにて「NG」である旨のご連絡を致します。

【弊社チェック運用開始時期】 2021年3月2日（月）

6. <参考> 日食協 商品画像専門部会と会員企業

▼日食協 商品画像専門部会とは

酒類・加工食品業界における商品画像運用効率化を目的に、
(一社)日本加工食品卸協会 情報システム研究会の下部組織として、2009年より以下の活動を行っています。

《活動内容》

- ・メーカー様による商品画像情報登録のEDI化推進
- ・酒類・加工食品業界の画像標準フォーマットに準拠した画像撮影・運用の定着化
- ・メーカー様からのサンプル送付重複回避活動

▼日食協 商品画像専門部会 会員企業

《卸売業》 ※日本加工食品卸協会役員名簿順

国分グループ本社株式会社、三菱食品株式会社、株式会社日本アクセス、伊藤忠食品株式会社、カナカン株式会社、加藤産業株式会社、三井食品株式会社、コゲツ産業株式会社、株式会社トーカン、ヤマエ久野株式会社、旭食品株式会社（株式会社パルネットコーポレーション）、丸大堀内株式会社

《事務局》

株式会社サイバーリンクス、株式会社ジャパン・インフォレックス